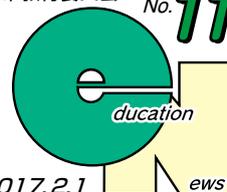


市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 110



2017.2.1



- ◆日本語指導ボランティア派遣事業ほか 2
- ◆租税教室/むかしの勉強・むかしの遊び展 3
- ◆新入生の1年間 4~5
- ◆教育相談Q&A・給食で使用する自慢の川越産!! 6
- ◆子どもが参加できる各種講座/
子どもサポート発表会・「小江戸見つけ隊」全作品展示会 7
- ◆知っ得!文化財 8

川越氷川祭の山車行事(川越まつり)がユネスコ無形文化遺産に登録決定

「川越氷川祭の山車行事」を含めた全国33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。川越市では12月17日に記念イベントを開催、式典と山車曳きを行いました(表紙写真)。「知っ得!文化財」(8ページ)に関連記事を掲載しています。ぜひ、お読みください。

川越市マスコットキャラクター
ときも



フォトニュース



時の鐘耐震化工事が完了 ~ご協力ありがとうございました~

平成27年7月下旬から約18ヶ月かけて行われていた「時の鐘耐震化工事」が完了し、1月9日には関係者による完成記念式典にて、明治27年の再建当初の姿に復原された時の鐘がお披露目されました。平成28年3月から停止していた定刻の鐘つきも1月10日から再開しました。工期中は、ご協力いただきありがとうございました。



学校給食では、地場産物を積極的に取り入れています。

学校給食に関するパネル展示 ~川越市健康まつり~

12月11日、ウエスタ川越で川越市健康まつりが開催され、展示コーナーでは、「みんなの学校給食コーナー」と題し、学校給食の目標、献立内容の変遷、地場産物を使用した献立、地場産物のブロッコリーが種から成長して給食の献立になるまでの様子などをパネル展示しました。また、学校給食献立レシピの配布、菅間学校給食センターで野菜くずなどから作った肥料の配布も行いました。

日本語指導ボランティア派遣事業

日本語指導ボランティアは、帰国・外国人児童生徒に対して授業での理解を深めたり、学校生活上の不安を取り除いたりすることを目的に小中学校へ派遣されます。一人一人の実態に応じた教育活動を推進することができ、現在27校に29名を派遣しています。

派遣している小中学校の校長に活用状況を伺いました。

Q 日本語指導ボランティアに期待していることは何ですか。

A 日本語指導ボランティアが派遣されることにより、児童生徒一人一人に対するより細やかな指導を行えます。授業では、担任や授業者の指示を児童生徒の母国語や分かりやすい日本語で伝えることでその学習の理解が深まることとが期待できます。

Q 日本語指導ボランティアをどのように活用していますか。

A 授業では、該当児童生徒の様子を見守りながら、必要に応じて授業内容の補足や説明をしています。日本語の理解が十分でないため、教師の指示が分からず戸惑っている児童生徒には、その場での適切な支援を行うことが重要であると考えています。また、個別学習の形で支援を行う場合もあります。



Q 日本語指導ボランティアの派遣により、実際にどのような効果がありましたか。

A 小学校では、日本語指導ボランティアの丁寧な支援で、該当児童の日本語の読み書きの習熟、学習での理解が深まっていると感じています。

A 中学校では、該当生徒が高校受験や進路選択といった悩みを抱える場合があります。日本語指導ボランティアは学習での支援はもとより、良き相談相手となり、学校生活上の不安を和らげるなど生徒が安心して学校生活を送る上で欠かせない存在になっています。

Q 日本語指導ボランティアさんに活動状況を伺いました。

Q 日本語指導ボランティアを始めたきっかけは何ですか。

A 子どもたちが好きで始めました。また、人の役に立つ仕事をしたいと思いました。

Q 日本語指導ボランティアでの活動で、感じていることはどんなことですか。

A 想像以上に子どもたちは言語、文化、習慣の違いで困っていると感じました。しかし、少しずつ自信をつけ、休み時間等で友達と楽しそうにしている姿を見たり、できることが増えてきたりすると、とてもうれしく思います。子どもたちの笑顔がこの仕事のやりがいです。

中札内村と川越市の中学生が交流 —中札内村中学生川越市訪問交流事業—

川越市では、友好都市である中札内村（北海道）の中学1年生を受け入れ、本市で社会学習やホームステイ等を体験してもらうことにより、市村民間の友好の絆を深めることを目的に、平成21年度から「中札内村中学生川越市訪問交流事業」を実施しています。

今年度は、1月8日～11日にかけて、9名の中学生が中札内村から本市を訪問、市内のご家庭にホームステイしたり、1月10日には寺尾中学校を訪問したり、初雁中学校生徒による案内で市内見学をしたりしました。寺尾中学校では、始業式に出席しました。始業式の後は、中札内村中学校生徒による村の紹介、寺尾中学校生徒による学校紹介、合唱やダンスなどの出し物、クラス対抗の玉入れが行われ、交流を深めることができました。



初雁中生徒による案内で市内見学 中札内村の生徒による村の紹介

アウトリーチによる参加体験型演奏会を 小学校9校で開催しました

川越市では、「川越市文化芸術スポーツ振興基金」を活用し、子どもたちの心の豊かさを育むため、「子どもの文化芸術体験事業—アウトリーチ」を実施しています。

アウトリーチとは、もともと「手を伸ばすこと」という意味の言葉ですが、ここでは、アーティストが「劇場」から「外」へ出ることで、劇場に足を運んだことのない人にも、芸術により親しみを持てるように啓発する活動のことを「アウトリーチ」と呼んでいます。

今年度は、小学校9校で楽器・曲の説明などを交えた演奏会が開催され、参加した児童の皆さんは演奏にあわせて体を動かすなど、楽しんでいるようでした。



11月15日に福原小学校で開催されたクラリネットとアコーディオンによる演奏会

税金はなぜだいじなのか 〜川越小学校「租税教室」〜

次代を担う子どもたちに税金の意義や役割を正しく理解してもらうために、川越市市民税課職員による「租税教室」が小学校9校で行われました。

税金に関するクイズ、DVDの視聴、講義を通して、税金がくらしの中でのどのようなことに使われているか、税金がなぜだいじなのかを学びました。



1億円のレプリカに驚く子どもたち



熱い講義を真剣に聴く子どもたち

11月30日に川越小学校の6年生を対象に行われた租税教室では、児童から、「税がないと、町がゴミだらけになったり、信号が動かなくなったり、道路がガタガタになったりすると知って驚いた。」「安全な社会、便利な社会、楽しい社会には欠かせないものが税金だとわかった。」「はじめて税のことを考えた。」「税がないとたくさんの当たり前がなくなってしまう。自分たちの生活に深く関わっていることを知った。」「税金などいらなと思うことがあった。また、税金がどうして上がるのかわらなかつたので、そのことを知る良い機会になった。」「など、様々な感想が聞かれ、関心をもって授業に取り組んでいたことがうかがえました。

博物館 第27回むかしの勉強・むかしの遊び展



石臼に挑戦!

昭和30〜40年代、テレビや冷蔵庫、洗濯機などの電化製品の普及により、人々のくらしは大きく変わりました。当館で開催中の「むかしの勉強・むかしの遊び展」は、地域の人々のくらしの移り変わりを、収蔵資料でたどっていきます。

学校の教室や家族団らんの居間、駄菓子屋の店先も再現されています。さらに今回の展示では、明治から現代までに架けられた3世代の高沢橋の移り変わりについての展示や、菓子屋横丁のお店を中心として、その時代の人々の遊びやくらしの様子について描かれた色紙絵を展示しています。

展示期間中には市内の全市立小学校の3年生が、この展示を活用して社会科「川越市の人々のくらしのうつりかわり」の学習を行っています。特別展示室では、冷蔵庫の「今とむかし」について博物館

職員のミニ授業を受けたり、再現された大型展示で資料を調べたりする活動をしています。また体験学習室では、洗濯板を使った洗濯や炭火アイロン等を、学習アドバイザーの協力のもと体験しています。子どもたちは今とむかしの道具を比較しながら調べ、人々のくらしの移り変わりに生き生きと想像を巡らせていました。



学習アドバイザーによる学習支援

第27回 むかしの勉強・むかしの遊び展

2月26日(日)まで開催中です。
11日(土)と18日(土)には、むかしの道具を体験できます。
ぜひ、ご家族でお越しください。
詳しくは、博物館までお問い合わせください。

TEL 222-5399



の1年間

1年生たちも、もうすぐ2年生。
を体験して成長した1年間で、
します。



ドキドキの入学式

入学式 4月

学校のシンボル、大きなけやきの木に迎えられ99名の新入生が入学しました。小学校生活への期待に胸を膨らませ、わくわくドキドキの入学式でした。

1年生を迎える会 4月

プレゼントのペンダントを首にかけてもらい6年生と手をつなぎながら、花のアーチをくぐって笑顔で入場。かわいい1年生がみんなの仲間入りをしました。

全校遠足 5月

なかよしグループのお兄さ



かわいい1年生が仲間入り

ん、お姉さんと一緒に川越水上公園に行きました。オリエンテーリングやグループで決めた遊びをして、楽しい時間を過ごしました。

交通安全教室 5月

交通指導員さんを招き、横断歩道の安全な渡り方を学びました。「右よし、左よし、右よし、渡ります。」声を出してよく確かめ、しっかり手を挙げて渡ることができました。

初めてのプール 6月

大きなプールと、シャワーの冷たい水にびっくり。流れるプールや宝拾いなど大はしゃぎでした。明るく元気な声がプール



全校遠足



手を挙げて、「渡ります」

からたくさん聞こえてきました。

虫捕り 9月

生活科の勉強で、学校の近くの草むらに虫捕りに出かけました。持ってきた虫捕り網でたくさん捕まえました。チョウやバッタ、カマキリなど虫かごに入れて持って帰り、大切に育てながら観察しました。

音楽会 9月

体育館のステージに立ち、練習してきた曲を発表しました。「にんげんていいな」は体を揺らして大きく口を開いて歌えまし



初めてのプールで大はしゃぎ

校外学習 10月
こども動物自然公園に行きました。ペンギン、カンガルー、コアラなどたくさんさんの動物を見ました。モルモットやウサギを抱いて、動物と触れ合うこともできました。



虫捕り



新入生

昨年4月、元気に入學してきた
しっかり勉強し、いろいろなこと
大東東小学校の活動をもとに紹介



大きく口を開いて歌った音楽会



動物と触れ合った校外学習

1年間の主な行事

〈1学期〉

- ・入学式
- ・1年生を迎える会
- ・学校探検・学区探検
- ・全校遠足
- ・新体力テスト
- ・校内硬筆展
- ・交通安全教室
- ・プール開き

〈2学期〉

- ・虫捕り
- ・校内音楽会
- ・校外学習
- ・運動会
- ・サツマイモ集会
- ・歯科保健指導
- ・けやき祭り

〈3学期〉

- ・校内書き初め展
- ・持久走記録会
- ・幼稚園との交流会
- ・6年生を送る会
- ・修了式



運動会



芋掘り



秋の歯科指導



けやき祭り



隅々まできれいに

6月に植えた苗が、たくさんのお芋になりました。自分で掘ったお芋は宝物のようです。サツマイモ集会では恵みに感謝して、みんなでおいしくいただきました。

芋掘り、 サツマイモ集会 11月

赤、白、青に分かれて全力で競技や応援をしました。腰を振り振りのチェッコリ玉入れ、小旗を持つ「イッツア 大東東スモールワールド」はとてもかわいらしく、大きな拍手をもらいました。

運動会 10月

なかよしグループで計画し、遊びコーナーを作ります。上級生と協力して、自分の仕事もきちんと行うことができました。グループで他のコーナーも遊んでまわり、とても楽しいお祭りになりました。

けやき祭り 11月

歯医者さんから、正しい歯の磨き方を教わりました。カラーテストで鏡を見ながら、磨き残しの点検です。ご家族の人と一緒に歯の大切さを学ぶことができました。

秋の歯科指導 11月

大東東小全体で取り組んでいる無言清掃。1年生も2学期から頑張っています。自分を成長させるための「がまん玉」「しんせつ玉」「みつげ玉」を磨きます。しっかりとできるようになりました。

無言清掃強化月間 12月



教育相談Q&A

◆うそをつく小学五年生

Q 家庭での息子の言動が気になっています。先日、持久走大会に向けて練習している息子に試走の結果を聞いてみると、完走することができなかったにもかかわらず、十位になったと自慢そうに話していました。他にも、学校での出来事を話してくれるのですが、事実とは違ったことを言うことがあるようです。家では、「うそはついてはいけない」「本当のことを話してごらん」とよく言い聞かせています。うそをつかず、本当のことを話せる子になってほしいのですが、どのようにしたらよいのでしょうか。

A 「うそをつく」というのは、一般的に自己防衛の表れの一つです。子どもの対人関係を築く経験の不足や、「うそ」をつかざるを得ない背景などを考えた時、ただ頭ごなしに「うそをついてはいけない」と教えるだけでは、問題が解決しません。また、「うそ」というのは、どこまでが事実なのか見えにくいところもあります。「うそ」をつく子は、自分の「うそ」がわかってしまうことを何よりも恐れるため、疑われていると感じると、極端に反抗したり、また「うその上塗り」をしたりする行動に出ることがあります。そうなることさらに状況を悪化させてしまいます。そこで、「うそをついた」とこと自体を問いつすのではなく、「なぜうそをついたのか」という本人の気持ちや状況把握

をすることが大切です。そのために、次のように、お子さんに接してみても、いかがでしょうか。

①「うそをつく」という事実だけでなくその状況全体をとらえる

子どもがどのような時に、うそをつくのかを把握してみましよう。子どもへの対応の方向性がつきりしてくるでしょう。「うそ」をついたことについて、叱るだけでは本当の解決にはなりません。ごまかさず、自分の失敗や非を認め、素直に打ち明けてくれたら、大いに褒めましよう。そして、周りの大人は、その子らしさを褒め、本人が自分の良い所に気づき、自信が持てるように導いてあげましよう。

②ありのままの自分で過ごせる環境を

うそをつく理由が、親子関係、友達関係などの心理面によるものではないのかを振り返りながら、お子さんとゆっくりじっくりと向き合ってみましよう。親子で一緒に遊んだり、家事をしたりしながら、温かい会話で心を通わせ、何でも話せる雰囲気と関係を持つことが大切です。ありのままの自分を認めてもらえる安心感と他人に対して寛容な心が育まれれば、他人を傷つけたり、自分を大きくみせようとするための「うそ」など、なくなっていくでしょう。

◆教育センター分室(リベール)では、教育に関する様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。

教育センター分室(リベール)

住所 川越市市場2649の1

面接相談(予約制) : TEL 234-8333

電話相談 : TEL 234-8335

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～



川越市マスコットキャラクター
ときも

みつば(糸みつば)

日本料理に欠かせないみつばは日本のハーブとも言われています。

川越市内ではスポンジの上に種をまき、水に浮かべて育てる「水耕栽培」という方法で1年を通して作られています。スーパーなどで根元にスポンジがついているものを見かけたら、それは水耕栽培されたものです。この時期は種まきから45日ほどで収穫できます。種は国内産のものを主に使用しているそうです。

学校給食で使用しているみつばは、ほぼ100%川越産です。小学校では3月の献立「すまし汁」に、中学校では2月の献立「沢煮椀」、3月の献立「白玉汁」に使用する予定です。

香り豊かなみつばを入れると、風味のよい料理になります。ご家庭でも汁物やサラダ、丼物等に取り入れてみてはいかがでしょうか。



▲沢煮椀



2月～3月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
アニメ映画会	2月12日、3月11日 13時30分～		中央図書館 TEL222-0559 FAX224-7822
子ども映画会	2月18日、3月19日 13時30分～		
春のおはなし会	3月28日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		西図書館 TEL237-5660 FAX237-5661
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712 FAX228-7713
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550 FAX238-7551
子ども体験教室 「昔の道具を使ってみよう」	2月11日・18日 ①10時～11時45分 ②13時30分～15時15分	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「和紙作りに挑戦」	3月11日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月3日、9時から電話またはファクス(定員各回15人)	○	
子ども体験教室 「わら細工に挑戦」	3月18日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月2日、9時から電話またはファクス(定員各回20人)	○	
石と森の夢工房	2月18日 10時～11時15分 申し込み＝2月7日、10時から電話、ファクスまたは直接来館(先着30人)	○	大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
季節のおそび ～テラコッタを作ろう～	3月11日 10時～11時30分 申し込み＝2月23日、10時から電話、ファクスまたは直接来館(先着30人)	○	
春休み子ども映画会	3月28日・29日 10時30分～12時	○	
障がい者親子太極拳教室	3月4日 10時～11時30分 申し込み＝2月8日、10時から 直接来館(定員10組・参加費100円)		名細公民館 TEL231-0001 FAX239-1166
親子クッキング	3月11日 10時～13時 申し込み＝2月8日、10時から直接 来館(定員10組・参加費900円)		
おはなし会	2月2日、3月2日 10時～10時40分		高階南公民館 TEL245-3581 FAX240-1752
子ども卓球広場	2月4日、3月4日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	2月18日、3月18日 9時～11時	○	
人形劇フェスティバル	3月12日 10時30分～11時30分		
土曜子ども映画会	3月18日 10時～11時		スポーツ振興課 TEL224-6094 FAX224-8712
第38回川越市ジュニアスキー教室	3月18日6時発～20日19時頃着 会場＝長野県菅平高原スキー場 対象＝小4～中学生(定員120人) 申し込み＝2月10日消印有効でハガキ	○	
ワークショップ 「猫の缶バッジを作ろう」	3月11日・12日 ①10時～12時 ②13時～15時	○	
ジュニアアートスクエア (子どものためのプログラム)	3月18日・25日 10時～12時(両日とも参加できる方) 申し込み＝3月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		美術館 TEL228-8080 FAX228-7870

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※ 〇の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※ 「中学生」の欄に○がついている講座は、中学生にもお勧めの講座です。

川越子どもサポート発表会

2月18日

子どもたちのために、学校・家庭・地域が連携して取り組む「川越・地域子どもサポート事業」。よりよい活動を目指し、それぞれの取組が紹介されます。

◆日時：平成29年2月18日(土)
午前9時15分～午前11時30分

◆会場：川越市やまぶき会館

主な内容

○今年度の活動発表(古谷地区、大東地区、山田地区、福原地区)。他の10地区の活動もスライドショーで紹介。

○子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」金賞受賞者の発表・表彰

○入賞者の作品40点をロビーに展示

子どもサポートコンクール

「小江戸見つけ隊」全作品展示会

子どもサポート発表会で表彰された作品をはじめ、作文・絵画・新聞の応募全作品(1,123点)を展示します。

◆日時：平成29年2月22日(水)
～2月26日(日)

午前9時～午後5時まで

※最終日は午後3時、入場2時30分まで

◆会場：川越市立美術館市民ギャラリー(入場無料)

2月22日
～26日



昨年度の美術館での展示会の様子



川越市マスコットキャラクター
ときも

詳しくは、地域教育支援課(TEL224-6086)までお問い合わせください。

知っ得 文化財 第35回

知って ちょっと 得意になれる!

このコーナーでは、子どもたちにわがまち川越のことを知ってほしいとの思いから、川越の文化財をわかりやすく紹介します。

「ユネスコ無形文化遺産」

平成28年12月1日、日本の「山・鉾・屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました。

この「山・鉾・屋台行事」は、全国で行われている33件のお祭りをひとつにまとめたものですが、33件の中には、川越市内で毎年行われている川越氷川祭の山車行事（川越まつり）も含まれています。

① ユネスコ無形文化遺産について

日本を含む、世界中の人々の間に伝わっている文化の中には、形を持たないものがあります。例えば、歌や踊り、お芝居、言葉、お祭り、物作りの技、生活の仕方などです。これらは人から人へ、実際にやり方を見て、話を聞いて、体で覚えて伝えてきたものです。このようなものの中でも、ある国や地域、グループに昔から伝わり、そこに住む人たちの歴史や生活に関わっているものを「無形文化遺産」といいます。

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）は、このような無形文化遺産の中から、いくつかの条件に当てはまっているものを選んで「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」という表に名前を載せています。この表に名前が載ると、ユネスコ無形文化遺産に登録されたということになります。



② 「山・鉾・屋台行事」とは？

昔から日本では、神様は高いところにおりてくるとい考え方があり、大きな木や、岩、山などが大事にされてきました。そのため、お祭りの時には山のような大きいものや、高い柱を立てて、神様におりてきてもらう場所を作りました。このような場所や物のことを「依代」といいます。

山・鉾・屋台行事は、このような依代を作って町の中を回り、地域の安全を願う祭りです。京都で行われている祇園祭が最初と言われています。神様が見てわかりやすいように高く、色々な飾りをつけていたのが、時代とともに見る人が素晴らしいと思う華やかな飾りになり、町中を回りやすいように車輪などがつくようになりました。現在では船の形のもの、動く人形がついているもの、踊ったりや楽器を演奏する舞台がついているものなど色々な形、種類があります。

